

## セキモフ・アディレット 研究員（キルギス共和国）



はじめまして。私はキルギス共和国から来ました、セキモフ・アディレットと申します。キルギスでは、非常事態省というところで自然災害のモニタリング業務に従事しています。現在は国際協力局という部署に所属しています。国際協力局は非常事態省の中央オフィスの中にあり、災害緊急時や予防分野などでの国際協力関連事業を実施しています。また、海外機関などからの投資や技術移転の誘致も担当しています。

この部署での大きな目的のひとつは、上述したキルギスと海外機関との国際協力の確立と協力体制の継続です。私はこの分野の専門家として、多くの案件について担当していて、今は世界銀行や UNHCR、UNWFP などの機関と連携し業務を行っています。

それでは、次に私の国キルギスについて少し紹介させていただきます。地理的にみると、キルギスは中央アジアのおよそ中心に位置していて、面積は 198,500 平方キロメートルです。人口は 5,500,000 人で、国土の 90%以上が 1,500m 以上のいわゆる山岳国です。最も高いポベダ山の山頂は 7,439m もあります。これら山岳地域においては、様々な気候変動が多くなる緊急事態を引き起こしています。また、キルギスでは地震、泥流、洪水、地滑り、雪崩や浸水など、様々な自然災害が毎年発生していて、多くの人命や貴重な財産が奪われています。

ADRC の客員研究員プログラムは、私の防災分野の知識を充実させるとも素晴らしい機会だと思います。私はこのプログラムの期間中、災害予防や準備、緊急対応などそれぞれのフェイズにおける災害対策について学び、コミュニティレベルにおける早期警報システムなどについても知識を得たいと思います。また、もし機会を頂ければ、東日本大震災の被災地も訪問できればと思います。ADRC で得られる経験は、きっと将来の私の業務に生かされると期待します。